

平成30年度 少子化対策に関する県民意識調査 質問項目・選択肢(確定)  
 ~総合的な結婚・子育て支援に関する県民意識調査・分析~

1. 結婚・家族形成に関する調査【独身者調査】

《スクリーニング(SC)》 ※事前に実施し、対象となるモニターを絞り込む					
分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
あなた自身について(属性)	1	あなたの性別をお答えください。	選択	1	1.男性 2.女性
	2	あなたの年齢をお答えください。	選択	1	1.20~24歳 2.25~29歳 3.30~34歳 4.35~39歳 5.40~49歳 6.50~59歳 7.60~69歳 8.70歳以上
	3	あなたがお住まいの都道府県をお答えください。	選択	1	1.群馬県 2.群馬県以外
	4	あなたがお住まいの市町村をお答えください。	選択	1	1.前橋市,2.高崎市,3.桐生市,4.伊勢崎市,5.太田市,6.沼田市,7.館林市,8.渋川市,9.藤岡市,10.富岡市,11.安中市,12.みどり市,13.榛東村,14.吉岡町,15.上野村,16.神流町,17.下仁田町,18.南牧村,19.甘楽町,20.中之条町,21.長野原町,22.碓氷村,23.草津町,24.高山村,25.東吾妻町,26.片品村,27.川場村,28.昭和村,29.みなかみ町,30.玉村町,31.板倉町,32.明和町,33.千代田町,34.大泉町,35.邑楽町
	5	あなたの職業をお答えください。	選択	1	1.正規雇用者(正規) 2.非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等) 3.自営業(家族従業者含む) 4.学生 5.無職・家事 6.その他( )
	6	あなたは現在結婚をしていますか。	選択	1	1.結婚している (婚姻届の提出の有無は問わない) 2.結婚したが、死別または離婚している 3.結婚したことがない

分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
----	---	------	------	-------	-----

《本調査(Q)》 ※以降は、スクリーニングで絞り込んだ対象者に対して実施する。

結婚に対する考えについて	1	あなたは将来結婚したいと思いますか。	選択	1	1.なるべく早く結婚したい(→問2へ) 2.いずれは結婚したい(→問2へ) 3.結婚はしてもしなくてもかまわない(→問2、問3へ) 4.結婚したくない(→問3へ)
	2	【問1で「1.なるべく結婚したい」「2.いずれは結婚したい」「3.結婚はしてもしなくてもかまわない」を選んだ方のみ御回答ください。】 「結婚したい」と思う理由は何ですか。	選択	2	1.経済的に余裕が持てる 2.一人前の人間として認められる 3.精神的な安らぎが得られる 4.家事が分担できるなど生活が楽になる 5.人間として成長できる 6.自分の子どもが持てる 7.周囲に結婚している人が多いから 8.特にメリットはない 9.メリットが分からない 10.その他( )
	3	【問1で「3.結婚はしてもしなくてもかまわない」「4.結婚したくない」を選んだ方のみ御回答ください。】 「結婚したくない」と思う理由は何ですか。	選択	2	1.自由な時間が減るから 2.自由に使えるお金が減るから 3.仕事に集中したいから 4.友人や実家と疎遠になるから 5.共同生活に不安があるから 6.特定の相手に束縛されたくないから 7.結婚相手を探すのが面倒だから 8.結婚にメリットを感じないから 9.出産・子育てが不安だから 10.その他( )
	4	結婚相手と知り合うきっかけとして期待するものはどのようなことですか。	選択	3	1.学校(高校以下) 2.学校(大学、大学院、専門学校) 3.学校以外のサークルや習い事 4.職場や仕事の関係 5.幼なじみ・隣人関係 6.地域の活動やボランティア活動 7.友人や兄弟姉妹を通じた紹介 8.見合い(親戚・上司の紹介も含む) 9.婚活イベント 10.結婚相談所 11.婚活サイト(インターネット、スマートフォンアプリを活用した婚活相談) 12.アルバイト先 13.インターネット・SNS(婚活サイトを除く) 14.街なかや旅先 15.その他( ) 16.特にない
	5	今の社会は結婚しやすい社会だと思いますか。	選択	1	1.結婚しやすい社会(→問7へ) 2.結婚しにくい社会(→問6へ) 3.どちらともいえない
	6	【問5で「2.結婚しにくい社会」を選んだ方のみにお聞きします。】 その理由について、どのようにお考えですか。	選択	2	1.職場等での出会いの減少 2.お見合いなどの習慣の減少 3.若者が経済的に不安定 4.女性の経済力の向上 5.結婚により失われるものの増大 6.男女間の結婚観の相違 7.異性間のコミュニケーション能力の低下 8.必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮 9.男性の積極性の低下 10.結婚に対する考え方の変化(相手を選びすぎて決められない等) 11.その他( )
	7	結婚を希望する人に対して、行政が結婚を支援する施策を行うことについて、どのようにお考えですか。	選択	1	1.賛成 2.どちらかといえば賛成 3.どちらかといえば反対 4.反対 5.わからない 6.その他( )
	8	結婚にかかわる支援として、どのようなことを行政に期待しますか。	選択	2	1.出会いの場の提供(パーティーなどのイベント) 2.公的な結婚相談所の開設(1対1の紹介形式のもの) 3.出会いや結婚に必要な情報の提供 4.婚活に役立つセミナーの開催(交際術・マナー・ファッションなど) 5.結婚のイメージアップに向けた意識啓発 6.その他( ) 7.特に期待するものはない
	9	「結婚しやすい環境づくり」として、どのようなことが重要だと思いますか。	選択	3	1.出会いの場づくりなど、独身者同士の交流支援 2.結婚式や新居準備などの結婚費用に対する経済的支援 3.出産しやすい環境づくりなど、出産に対する支援 4.子育てサービスの充実など、子育てに対する支援 5.仕事と育児が両立できる環境づくり 6.雇用形態や就業環境の改善 7.社会全体で若者の自立や結婚を応援する機運づくり 8.その他( )

分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
子育てに対する考えについて	10	あなたは将来子どもを何人持ちたいですか。	選択	1	1.1人（一問12へ） 2.2人（一問12へ） 3.3人（一問12へ） 4.4人以上（人）（一問12へ） 5.子どもは持ちたくない（一問11へ） 6.分からない
	11	【問10で「5.子どもは持ちたくない」を選択した方にお聞きします。】 「子どもを持ちたくない」と思う理由は何ですか。	選択	2	1.子どもが好きではないから 2.出産に対して不安があるから 3.子育てに対して不安があるから 4.経済的に負担が大きいから 5.子どもに対する責任を負いたくないから 6.仕事と子育ての両立が難しいから 7.自分の時間や生活を大切にしたいから 8.子どもを育てるのに社会環境が望ましくないから 9.その他（ ）
	12	将来、子育てをする上で不安なことは何ですか。	選択	2	1.子育てするのが大変そう 2.子育てしながら仕事をすることが難しそう 3.配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない 4.親の協力が期待できない 5.経済的にやっていけない 6.夫婦二人のための時間がとれない 7.自分のために使える時間やお金が減る 8.その他（ ） 9.特になし
	13	【問1で「1.なるべく早く結婚したい」「2.いずれは結婚したい」「3.結婚はしてもしなくてもかまわない」を選んだ方にお聞きします。】 あなたは、 <u>自分自身の仕事</u> と結婚・子育てについて、どのような希望がありますか。	選択	1	1.結婚しても、子どもは持たずに仕事を続けたい 2.結婚し、子どもが生まれても仕事を続けたい 3.結婚又は子どもが生まれて一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持ちたい 4.結婚又は子どもが生まれて退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念したい 5.わからない 6.その他（ ）
	14	【問1で「1.なるべく早く結婚したい」「2.いずれは結婚したい」「3.結婚はしてもしなくてもかまわない」を選んだ方にお聞きします。】 あなたは、 <u>自分自身の仕事</u> と結婚・子育てについて、 <u>実際にはどのようになりそうですか</u> 。	選択	1	1.結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける 2.結婚し、子どもが生まれても仕事を続ける 3.結婚又は子どもが生まれて一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ 4.結婚又は子どもが生まれて退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する 5.わからない 6.その他（ ）
	15	【問1で「1.なるべく早く結婚したい」「2.いずれは結婚したい」「3.結婚はしてもしなくてもかまわない」を選んだ方にお聞きします。】 あなたは、 <u>将来のパートナー（夫や妻など）の仕事</u> と結婚・子育てについて、どのような希望がありますか。	選択	1	1.結婚しても、子どもは持たずに仕事を続けてほしい 2.結婚して子どもが生まれても仕事を続けてもらいたい 3.結婚又は子どもが生まれて一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持ってもらいたい 4.結婚又は子どもが生まれて退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念してもらいたい 5.わからない 6.その他（ ）
	16	あなたは、家庭内での家事、育児、看護・介護の分担について、どのように考えていますか。	選択	1	【項目】 (1) 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物） (2) 育児 (3) 看護・介護 【選択肢】 1.主に男性 2.男女で分担 3.主に女性 4.その他（ ）
	17	あなたは結婚しないまま子どもを持ちたいと思いますか。	選択	1	1.持ちたい 2.持ちたくない 3.分からない
18	【問17で「2.持ちたい」を選択した方にお聞きします。】 「結婚しないまま子どもを持ちたい」と思う理由は何のようなことですか。	選択	1	1.パートナーとの間に子どもは欲しいが、結婚する必要はない 2.子どもは欲しいが、パートナーは必要ない 3.親が結婚を認めてくれない 4.その他（ ）	

分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
妊娠・出産に対する考えについて	19	自分の人生設計上、子どもをもうけるとすれば、遅くとも女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えていますか。	選択	1	1.20歳未満 2.20～25歳未満 3.25～30歳未満 4.30～35歳未満 5.35～40歳未満 6.40～45歳未満 7.45歳以上 8.決めていない・わからない 9.子どもをもうけるつもりはない
	20	あなたは男女ともに年齢が高くなるほど妊娠の確率が低下することなど、妊娠と年齢の関係についてご存知でしたか。	選択	1	1.知っている 2.聞いたことはあるが、よく知らない 3.知らない
	21	【問20で「知っている」と回答した方にお聞きします。】 どのようにして知りましたか。	選択	全て	1.学校で 2.医師や看護師など医療従事者から 3.家族や友人から 4.テレビ、インターネット、雑誌などから 5.その他( )
	22	あなたの身近な状況について、あてはまるものをお答えください。 (質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、「5.該当しない」を選択してください。)	選択	1	【項目】 (1)赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった (2)両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた (3)結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた (4)同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多かった 【選択肢】 1.あてはまる 2.どちらかといえばあてはまる 3.どちらかといえばあてはまらない 4.あてはまらない(該当しない)
	23	妊娠・出産にかかる支援として、どのようなことを行政に期待しますか。	選択	3	1.妊婦健康診査の公費負担の充実 2.乳幼児健康診査等のサービスの充実 3.母親学級、両親学級等のサービスの充実 4.不妊治療費助成の充実 5.妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発 6.妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置 7.ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業 8.産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ) 9.出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供 10.不育症への治療費助成の導入 11.その他( ) 12.特に期待するものはない
	24	あなたは、「群馬県女性健康支援センター※」を知っていますか。 ※身体の変化や妊娠に関することなど、女性の健康に関する悩みを助産師に電話で相談できる機関	選択	1	1.知っている(→問25へ) 2.知らない(→問26へ)
少子化について	25	【問24で「知っている」と回答した方に伺います。】 どのようにして知りましたか。	選択	1	1.案内カード 2.ポスター 3.生命を育む講座(※) 4.その他( ) ※群馬県助産師会が県内の小・中・高等学校、特別支援学校で開催している妊娠・出産に関する講話
	26	現在、日本は出生率が低下し、子どもの数が少なくなっていく「少子化」が進んでいます。出生率低下の要因はどのようなことだと思いますか。	選択	2	1.結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えたから 2.子どもを持つより自分の人生を楽しみたいと考える人が増えたから 3.子どもは少なく産んで十分に手をかけて育てたいという人が増えたから 4.子育てを支援するサービスが充実していないから 5.仕事と子育ての両立に関する職場の制度が整っていないから 6.子育てに対する男性の参加が得られず、女性の負担が大きいから 7.子育てにお金がかかりすぎるから 8.子どもをとりまく社会環境に不安があるから 9.その他( )
	27	少子化が進んでいくと、どのような影響が出てくると思いますか。	選択	2	1.人口が減少し、地域の活気がなくなる 2.働く若者の数が減少し、経済的に成長が低下する 3.年金などの社会保障制度の維持が困難になる 4.子どもが減少し子ども同士で遊ぶ機会が少なくなるため、子どもの成長に影響がでる 5.人口が減少することで、エネルギー問題や環境問題にゆとりがでる 6.その他( ) 7.わからない

分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
少子化対策について	28	次の各施策について、総合的にみて少子化対策としての重要度はどの程度だと思いますか。	選択	1	<p>【項目】</p> <p>(1)子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援サービスの充実</p> <p>(2)保育サービスの充実</p> <p>(3)ぐーちよきパスポートなど社会全体で子育てを応援する取組</p> <p>(4)若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組</p> <p>(5)少人数学級編制など学校における教育環境の整備</p> <p>(6)家庭教育を支援するための取組</p> <p>(7)住宅や公園整備など生活環境の整備</p> <p>(8)交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組</p> <p>(9)小児医療体制の整備</p> <p>(10)産科医療体制の整備</p> <p>(11)相談体制の整備や費用負担の軽減など不妊治療対策の取組</p> <p>(12)児童虐待対策など要保護児童への取組</p> <p>(13)家庭と仕事を両立できる雇用環境整備</p> <p>(14)ぐんま結婚応援パスポートなど社会全体で結婚を応援する取組</p> <p>(15)若者の経済的自立を支援する取組</p> <p>【選択肢】</p> <p>1.とても重要</p> <p>2.重要</p> <p>3.あまり重要でない</p> <p>4.重要ではない</p> <p>5.わからない</p>
	29	現状の少子化対策の各施策の取組状況についてどう思いますか。	選択	1	<p>【項目】</p> <p>(1)子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援サービスの充実</p> <p>(2)保育サービスの充実</p> <p>(3)ぐーちよきパスポートなど社会全体で子育てを応援する取組</p> <p>(4)若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組</p> <p>(5)少人数学級編制など学校における教育環境の整備</p> <p>(6)家庭教育を支援するための取組</p> <p>(7)住宅や公園整備など生活環境の整備</p> <p>(8)交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組</p> <p>(9)小児医療体制の整備</p> <p>(10)産科医療体制の整備</p> <p>(11)相談体制の整備や費用負担の軽減など不妊治療対策の取組</p> <p>(12)児童虐待対策など要保護児童への取組</p> <p>(13)家庭と仕事を両立できる雇用環境整備</p> <p>(14)ぐんま結婚応援パスポートなど社会全体で結婚を応援する取組</p> <p>(15)若者の経済的自立を支援する取組</p> <p>【選択肢】</p> <p>1.充実している</p> <p>2.どちらかといえば充実している</p> <p>3.どちらかといえば不足している</p> <p>4.不足している</p> <p>5.わからない</p>
	30	次の少子化対策関連の制度や事業について、あなたはご存知でしたか。	選択	1	<p>【項目】</p> <p>(1)ファミリー・サポート・センター</p> <p>(2)ぐーちよきパスポート</p> <p>(3)ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)</p> <p>(4)群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまマイルライフ」</p> <p>(5)さくらプラン・わかばプラン</p> <p>(6)24時間子供SOSダイヤル</p> <p>(7)子ども教育・子育て相談</p> <p>(8)小児救急電話相談(＃8000)</p> <p>(9)不妊専門相談センター</p> <p>(10)こどもホットライン24</p> <p>(11)ジョブカフェ・マザーズ</p> <p>(12)ぐんま男女共同参画センター</p> <p>(13)第3子以降3歳未満児保育料免除事業</p> <p>(14)中学生まで医療費無料</p> <p>【選択肢】</p> <p>1.知っている</p> <p>2.聞いたことがある</p> <p>3.知らない</p>
	31	あなたは少子化対策としてどのような経済的支援が必要だと思いますか。	選択	3	<p>1.結婚に対する経済的支援</p> <p>2.出産に対する経済的援助の充実</p> <p>3.育児休業中の所得保障の充実</p> <p>4.児童手当の支給対象年齢の引き上げ</p> <p>5.児童手当の金額の引き上げ</p> <p>6.多子世帯に対する経済的負担の軽減</p> <p>7.子育て世帯に対する所得税の減税</p> <p>8.幼稚園・保育所等の費用負担の軽減</p> <p>9.教育費の負担軽減</p> <p>10.子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助</p> <p>11.その他( )</p>
32	結婚、妊娠・出産、子育てや少子化対策について、日頃お考えのことや行政に対する要望等がありましたらご自由にお書きください。(結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援に係る精神的支援など経済的支援以外の取組等)	記述	-		

分類	問	質問項目	回答方法	選択数上限	選択肢
子どもの未来について	33	将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後の未来について、どのように思いますか。	選択	1	1.希望が大きい 2.どちらかといえば希望が大きい 3.どちらかといえば不安が大きい 4.不安が大きい
	34	将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後に不安があるとすれば、どんなことだと思いますか。	選択	3	1.経済的な自立が困難な若者が増える(ひきこもり、ニートなど) 2.ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える 3.ロボット等による自動化・機械化により、仕事がなくなる 4.希望する仕事につけなかったり、リストラにあう可能性がある 5.労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する 6.技能や文化の担い手が減少し、地域の産業や伝統文化が衰退する 7.結婚したくてもできない人が増える 8.子どもを生み育てにくくなる 9.貧困家庭が増加する 10.ハラスメントが増え、働きにくい職場が増える(パワハラ、セクハラなど) 11.年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える 12.輸入農畜産物の増加により自給率が低下したり、食の安全への不安が高まる 13.犯罪の増加により、犯罪に巻き込まれる可能性が高まる 14.災害が起こる可能性が高まる 15.地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる 16.近隣住民同士の関係の希薄化など、地域で暮らしにくくなる 17.情報通信技術の発展等により、プライバシーが脅かされる 18.その他( ) 19.特にない 20.分からない